

平成27年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	田舎ギャラリー「小さな小さな発表会」プロジェクト 住民と事業者で作るコミュニティ商店街づくり
事業主体 (連絡先)	うすだ美図 佐久市臼田 2175
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,330,120円 (うち支援金: 996,000円)



事業内容

「お休み処・ベルフラワー」を活用して、世代を超えた来街者どうしのコミュニティ機会をつくる目的に賛同し、趣味や得意分野などで地域貢献をしたい、地域の皆さんとつながりたいなど、意欲的な住民で自慢の発表や地域とつながるイベント等のアイディアを持ち、集客と発表ができる発表者を公募。応募者に対して選考会（発表者によるプレゼンテーション）を実施し、当会会員および有識者により5組の発表者を選定。9月より毎月1回発表会を実施した（9月～1月計5開催）。発表会開催の告知、開催場所の提供を当会が行い、発表会当日は発表者主体で運営した。各回の発表内容は新聞折込みや当会会員企業および商店街の店舗にて配布する等、積極的に広報し、地域住民の参加と交流に努めた。



【発表者選考会】

事業効果

- ①発表会出場者の公募に発表枠5組を超える12組の応募があった。
- ②月1回の発表会を計5開催実施
各回の来場者30人以上 発表会内容は展示発表、音楽演奏、体験参加型など多様性がみられた。
- ③来場者から他所（デイサービス、近隣施設等）での発表会の依頼があった。
- ④発表者から空き店舗、商店街での継続実施要望があった。

- 【目標・ねらい】
- ①地域住民の自発的参加
 - ②趣味・得意分野の発信、共有
 - ③地域住民のつながり強化
 - ④臼田の空き店舗活用促進

※自己評価【 A 】

【理由】
発表会応募者数の好反響、発表会当日も来場者多数。発表者、来場者ともにこのような機会を望んでおり今後の地域活性化策となり得る

今後の取り組み

発表者募集の段階で意欲的な応募者が多数あり、地域資源である人材や豊富な才能と可能性がわかった。今後もこのような機会を企画、発信し地域住民相互の交流の場を創出していきたい。各発表会の開催を通して、今後も継続的な開催を望む声とともに、発表者自身も空き店舗等で継続実施したいとの意思があり地域の活性化が見込まれる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある